

(別紙)

令和6年12月定例会議 一般質問

10番議員 山下 純夫

本町の2つのブランディング事業、開成町ブランドおよび町そのもののブランディング事業について問う

本町には2つのブランディングに関連した事業が存在する。

1つは「開成町ブランド」だが、「開成町ブランド」とはこういうものだ、という確固たる選定基準やブランドに不可欠なストーリーが欠けている。

また本来「ブランド」とは育てるものだが、どう育成しているのか。今年度のブランド認定審査会のことは未だHPにも出てこない等、存在そのものが希薄になっている。

もう1つは、町そのもののブランディングであるが、シティプロモーション動画と言いながら、あじさいちゃんのプロモーション動画でしかなく、移住促進が目的のようだが、移住者向けのメッセージは感じ取れない。

足柄上地区1市5町で設立した「あしがらローカルブランディング推進協議会」は、『千年の湧水 あしがら水源』のキャッチコピーを採用している。しかし、9月定例会議における私の一般質問「自治体経営の観点から本町の水路管理を問う」への答弁からは、まちづくりにおいて水や水路を重視して、ブランディングに活用している様子はなく、ブランディングで大切なフォーカスが感じられない。

そこで両ブランド事業について、あらためてその意義や目的、これまでの経緯と成果などを多面的に問う。